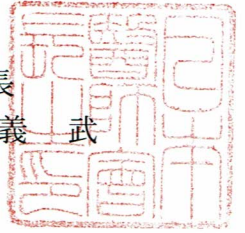


日医発第 544 号 (地 196)
令和元年 8 月 22 日

被災者健康支援連絡協議会 構成団体
日本救急救命士協会 会長 殿

日本医師会会長
横 倉 義 武



防災推進国民大会 2019 の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、国民や多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関するシンポジウムや展示等を行う「防災推進国民大会 2019 (ぼうさいこくたい 2019)」が開催されることとなりました。

本大会の主催団体のうち、防災推進国民会議 (議長: 近衛忠輝 (日本赤十字社社長)) には、本職が議員に就任しております。

10 月 19 日には、名古屋コンベンションホールにて、本会が愛知県医師会の協力の下、「災害と医療～レジリエントな地域づくりとは」をテーマにセッションを開催する予定です (事前申込不要)。また、開催期間中、同エリア 3 階アカデミックゾーンに、本会より「災害医療と医師会」に関するポスターを展示する予定です。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会管下会員等への周知方につき、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。医師だけではなく、一般の方々のご参加につきご周知いただけましたら幸甚に存じます。

記

防災推進国民大会 2019 (ぼうさいこくたい 2019)

開催日: 令和元年 10 月 19 日 (土) (10～18 時)・20 日 (日) (10～16 時)

場 所: 名古屋市ささしまライブエリア

(名古屋コンベンションホール・パークエリア・キャナルゲートエリアなど)

本会出展: セッション…10 月 19 日 (土) 16:30～18:00

名古屋コンベンションホールセンターエリア 3 F、301 会議室

ポスター …10 月 19 日 (土)・20 日 (日)

名古屋コンベンションホールセンターエリア 3 F、アカデミックゾーン

主 催: 防災推進国民大会 2019 実行委員会

(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)

参加費: 入場無料

「災害と医療～レジリエントな地域づくりとは」

趣旨

被災者の生命と健康を守り、「防ぎ得た死」を回避するためには、防災行政における医療の位置づけを高めることが不可欠である。それは、発災前（「災害への備え」）、発生直後でどこからの支援もない時期、災害超急性期、急性期以降、収束期・復興期に至るまで、いずれの段階も重要といえる。

本シンポジウムセッションでは、管下郡市医師会との連携体制の構築や救急医療情報センターの運営など、災害対策や地域包括ケア等の活動に積極的に取り組まれている愛知県医師会のご協力を得て、災害から地域包括ケア、地域医療を守り、復旧を果たしていくことについて、教育・介護等の様々な関係者の参画も得て、問題提起やその解決策について講義やディスカッションを行う。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組 2015－2030」（2015年3月「第3回国連防災世界会議」にて採択）を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で4回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。前回は東京ビッグサイト及び東京臨海広域防災公園で開催され、1万2千人の市民や防災関係者が参加した。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長（内閣総理大臣）が開催するもの。横倉会長が議員に就任している。

防災推進国民大会 2019 日本医師会セッション

「災害と医療～レジリエントな地域づくりとは」

日時：2019年10月19日（土）16時30分～18時

会場：名古屋コンベンションホール

センターエリア3F、301会議室

司会：細川 秀一 愛知県医師会理事

開会・主催者挨拶

パネリスト

- 石川 広己 日本医師会常任理事
- 野田 正治 愛知県医師会理事
- 伊藤 之一 愛知県医師会救急委員会委員長
- 土畠 智幸 医療法人稲生会理事長（在宅医療）
- 調整中 地域保健・衛生行政関係者

ディスカッション

総括・閉会

主催：日本医師会

協力：愛知県医師会